

12・3%の13人が合格

日測協、空間情報総括
監理技術者資格認定試験

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は2022年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の合格者を発表しました。93人が受験し、13人が合格した（合格率12・3%）。本年度の合格者を加えた資格

者の総数は425人。合格者は協会のホームページに掲載している。資格の有効期間は5年。資格の更新には「測量技術者継続教育証明制度（測量CPD）」の所定のCPDポイントの取得が条件となる。

日測協は「空間情報総括監理技術者」資格制度を05年に創設した。空間情報に関する事業の企画・提案・監理の能

力を有する技術者を認定するための制度。有資格者は日測協の「地理空間情報専門技術者」のさらに上位のクラスの技術者として日測協会長が認定する。

資格は国土交通省や国土地理院、地方農政局、森林管理局などが発注する提案型業務などでの評価要素の一つとして活用されている。